

# カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム カーボンフットプリント（CFP）検証申請書

＜本ページ（表紙）は、関係者（事務局、委員、検証員）情報共有用資料となります＞

＜ 新規 / 変更 ＞	申請日	年	月	日
-------------	-----	---	---	---

検証申請者の連絡先等				
ふりがな 事業者名	組織の代表者等ではなく、申請書を提出し、連絡担当となる方を原則ご記入ください。			
部署名等				
役職等				
ふりがな 氏名	ふりがな 氏		ふりがな 名	
e-mailアドレス				
電話（固定・携帯） ※半角			携帯	
FAX ※半角				
所在地	〒 ※半角		都道府県	
	市区郡以下			
	ビル名等			

CFP検証申請書チェックリストによるチェック	
チェックリストによる チェックの有無	

CFPプログラム研修会・個別相談への参加の有無		
研修会	参加有無	
個別相談	参加有無	

検証申請の資料一式以外に、検証で利用する資料があれば必ずここに記載してください。事務局はこの欄を確認し、追加的に資料を添付するか確認をするので、ここに記載がない場合は、資料が含まれないことになります。

検証後のウェブサイト 公開時期への要望など <sup>(*)2</sup>	
--	--

(\*)2 検証後、CFPウェブサイトの「CFP宣言認定製品一覧」に本申請書「(2)登録情報シート」を掲載するにあたり、ご要望がある場合、ご記入ください。なお、CFP検証合格後に「CFP宣言登録・公開申請書」をご提出いただくにあたり、公開日は改めてご記入いただきます。

添付資料 <sup>(*)3</sup>	
----------------------	--

(\*)3 本申請書以外に補足説明資料を添付している場合には、資料名称などを記入してください。

その他連絡先 <sup>(*)4</sup>				
事業者名	検証時、内容の問い合わせ先が検証申請者と異なる場合のみ連絡先をここに記載してください。 検証申請者の連絡先と同じ場合は記入不要です。			
部署名・役職等				
ふりがな 氏名				
e-mailアドレス				
電話（固定・携帯） ※半角			携帯	
FAX ※半角				
所在地	〒 ※半角		都道府県	
	市区郡以下			
	ビル名等			

(\*)4 内容についての問合せ先が検証申請者と異なる場合のみご記入下さい。

連絡担当 <sup>(*)5</sup>	
事業者名/氏名	

(\*)5 連絡先を2か所記入した場合は、どちらが連絡担当かご記入ください。

**【注意事項】**

- ・最新版の認定CFP-PCRに基づいて計算されていることを必ずご確認ください。  
(CFPウェブサイト[<http://www.cfp-japan.jp/>]にて最新版CFP-PCRのダウンロードが可能です。)

# カーボンフットプリント 登録情報

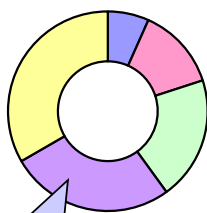
このシートはウェブサイト公開資料です。ただし企業機密情報は非公開とすることができます。

1. 製品情報			
1.1	登録番号	(申請時には記入不要です)	1.7 製品写真
1.2	登録名称 (日本語)		製品写真やイラストを貼り付けてください。 (230×230ピクセル以上が望ましい)
	登録名称 (英語)		
1.3	製品型式		
1.4	製品の主要仕様	この製品名称がウェブサイトの一覧に表示されますので、具体的に製品を特定できる名称としてください。英語の製品名称も併せて記載し、それぞれ全角60文字以内としてください。(システムで制限されています)	「仕様 200mm×100mm、200g、…」は消費者からみると不親切な表現であることから、「仕様 サイズ 200mm×100mm、重量 200g、…」といったような「丁寧な表現」を心がけてください。  なお、認められない表現としては「リサイクル30%」などが上げられます。リサイクル30%だと、使用した原材料にリサイクル材が30%入っているのか、リサイクルが30%されることを前提に算定を行ったのか、どちらかわからないので、「リサイクル材を30%使用した」と、型式を特定する
1.5	CFP算定単	型番など、製品名から製品が連想できない製品の場合、読み手にわかりやすいよう、製品に関する補足説明をつけてください。	
1.6	公開日		
2. 事業者情報			
2.1	事業者名 (日本語)	・製品名称の前に一般の方にわかる製品ジャンルを記載する 例:「学校給食用食器 ABC-XYZ」	登録情報への問い合わせに対応できる連絡先を記載してください。
	事業者名 (英語)	・ある1つの製品orサービスについて、条件の異なる	
2.2	電話番号		
3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	1.0	kg-CO <sub>2</sub> e (端数処理により、左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります。)
3.2	内訳 (ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等)		
	原材料調達段階	8.5	kg-CO <sub>2</sub> e
	生産段階	0	kg-CO <sub>2</sub> e
	流通段階	0	kg-CO <sub>2</sub> e
	使用・維持管理段階	0	kg-CO <sub>2</sub> e
	廃棄・リサイクル段階	0	kg-CO <sub>2</sub> e
数値表示、追加情報の内容			
3.3	数値表示	<記載内容>	数値表示の単位>
	追加情報の記載内容	「000g」など数値表示を行う際の数値と単位を書いてください。3桁目を四捨五入した2桁表示が原則です。	①「カーボンフットプリントの算定・宣言に関する要求事項 3.2.5.項 追加情報」および「該当するCFP-PCR 12-1 追加情報」に記載されている要求事項に従って記載してください。 ②なお、4.1 CFP算定結果の解釈など、本シート(登録情報)に記載されている内容については検証の対象となりますので、追加情報として表示することができます。記述の重複を避けるため、この欄に本シートの他の情報を記載する必要はありません。
3.4	備考	シリーズ製品として算定している場合やCFP-PCRで表示必須としている情報について記述してください。他のCFP検証合格済み製品の登録情報を引用している場合は、その登録番号を引用した旨を極力記載してください。	

3桁目を四捨五入した2桁表示が原則です。内訳は、値が非常に小さい場合は「〇〇未満」と表示しても構いません。  
<表示例>  
3,300  
150  
12  
8.3  
0.55  
0.13

単位は「g-CO<sub>2</sub>e」「kg-CO<sub>2</sub>e」「t-CO<sub>2</sub>e」のいずれかを適切に選択してください。

<例>  
・製品1個あたり  
・内容量100gあたり  
・1食あたり  
・使用1回あたり



- 原材料調達段階
- 生産段階
- 流通段階
- 使用・維持管理段階
- 廃棄・リサイクル段階

ライフサイクル段階別のCO<sub>2</sub>排出量の割合を表示するグラフを記載することを推奨します。

数値表示や追加情報の表示を行わない場合は、3.3の記入は不要です

4. CFP算定結果の解釈	
4.1	CFP算定結果の解釈

検証申請書に記載されたもの(算定に用いたデータ、算定結果)のみから第三者が見ても明言できる範囲で結果を解釈してください。  
 ○適切な例「原料調達段階における温室効果ガス排出量が最も多くなりました。これは、購入原料である〇〇の生産に起因するものが大部分でした。ただし、原料使用量は当社データを利用していますが、原料製造時のデータは一般的な値を利用しているため、当製品素材固有の特徴を反映していない場合があります。そのため、この結果は概算値としてご理解ください」  
 ○適切な例「使用段階における温室効果ガス排出量が最も多いため、使用時の省エネ性能が非常に重要な要素だと言えます。なお、使用段階使用・維持管理段階は、一般的な条件を設定して評価したため、お客様の利用条件と同じでない場合があります」  
 ×不適切な例「一般的に〇〇製品は使用段階の影響が多いのですが、当該製品はその割合が小さいため、環境に配慮した製品と解釈されます」(検証対象外である他製品と比較してはならない。また、温室効果ガス排出量のみ算定しているため、環境に配慮した製品とは必ずしも言えない。)  
 ×不適切な例「原材料である〇〇の寄与が大きいため、今後は〇〇など、別の材料にすることでCO<sub>2</sub>削減が期待されます」(素材変更後、使用量(活動量)が同じとは限らないため比較はできない)  
 ×その他、不適切な例:コスト・価格に関する記載(コストは検証外のため)

5. 算定条件			
5.1	認定CFP-PCR名称	5.2	認定CFP-PCR番号
5.3	利用した二次データの考え方		

利用した二次データの考え方について記載してください。複数ある場合は、優先順位を記載してください。  
 <表記例>  
 ・基本データベースver.1.0を優先して利用しつつ、利用可能データ(国内)ver.1.0で補完した  
 ・3EID(2005)を優先して利用しつつ、基本データベースでver.1.0補完した

6. 検証情報			
6.1	検証方式	6.2	システム認証番号
6.3	検証番号	6.4	検証合格日

7. プログラム情報			
7.1	プログラム名	7.2	プログラムウェブサイト
7.3	プログラム運営者	7.4	プログラム運営者住所

8	備考	(事務局使用欄)
---	----	----------

(※) 二次データについては、CFPウェブサイト下記ページ参照のこと。  
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>

## 数値表示(案)

(製品やカタログに数値表示を行う場合のイメージを記入(追加情報含む))

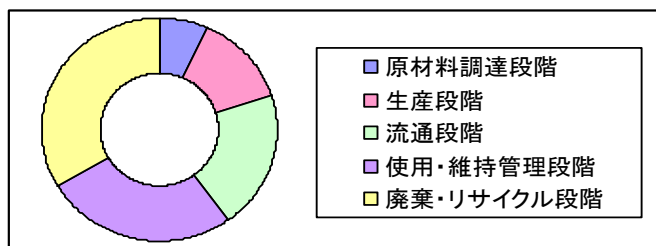
本資料は、具体的な表示のイメージについて、必要な情報が抜け落ちていないか等の確認を行うものです。  
**検証の対象外**となりますが、参考として、申請時に検討している、製品販売時の具体的な表示(案)を記載してください。

<本シート以降は、関係者(事務局、委員、検証員)情報共有用資料となります>

### 数値情報を表示する場合のイメージ(案)



CO<sub>2</sub>の「見える化」  
 カーボンフットプリント  
<http://www.cfp-japan.jp>  
 CR-XXYY-ZZZZZ



ライフサイクル段階別のCO<sub>2</sub>排出量の割合を表示するグラフを記載することを推奨します。

CFPマークに数値表示を行う場合の

- 数値表示
- 追加情報 などの表示イメージを、「カーボンフットプリント宣言の方法に関する要求事項」に従って記入してください。

・「カーボンフットプリント宣言の方法に関する要求事項」に従って、マーク表示のイメージ案を記入してください。

・ダウンロードURL  
<http://www.cfp-japan.jp/regulation/index.html>

## ライフサイクルフロー図

申請対象製品のライフサイクルフロー図を記載する。

申請者が新たに作成することを必須にするものではなく、CFP-PCRに貼付されたライフサイクルフロー図を加工してもよい。

ただし、CFP-PCRはPDFファイル以外では公表されていないため、自社の製品のライフサイクルフロー図を新たに作成することが望ましい。

申請者名

対象製品

使用CFP-PCR

### ライフサイクルフロー図を作成・貼付

横でも縦でも良いですが、印刷時に切れないように印刷のプロパティで調整してください。

なお、フロー図の中間製品やプロセス等に番号を付し、「(5)データ入力と算出結果」シートの「プロセス名」の欄および「(6)データの根拠」シートの「(必要に応じて)関係するエビデンス資料、説明資料の名称、プロセス番号」の欄にそれぞれ番号を記載すること。



データの根拠：活動量及び原単位のデータ入手方法、計算式、式の説明、データ収集期間、等

非公開資料

参照番号	活動量 ／原単位	(必須) データ入手方法、計算式、式の説明、データ収集期間、等	(必須) 関係するエビデンス資料(データ出典の名称、データ作成者の名称、社内情報システムの名称等)、説明資料の名称、プロセス番号
A1	活動量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の仕様書における各種部材の重量構成比を把握する。キャップ部材の重量は4.545kgであった。(A2と異なるデータ入手方法を採用するのは、適用される商品が限定されている部材の場合、全商品で配分計算を行なうA2の手法が適していないため。)</li> <li>・社内生産管理システム●●から、キャップの射出成型の際の端材の発生割合を把握する。端材発生割合は投入樹脂量に対し10%である。</li> <li>・計算式:投入樹脂重量×キャップ部材の重量×(1+端材発生割合) 5.00(kg)=4.545(kg)×1.1</li> </ul>	プロセス① 製品仕様書 社内生産管理システム●●
A2	活動量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ * 工場における年間投入量を一次データで収集し商品間で生産個数で配分。</li> <li>・データ収集期間:1年間(2008年7月~2009年6月)</li> <li>・各種伝票よりデータ収集</li> <li>・配分方法:個数配分。</li> </ul>	プロセス① * 工場伝票集
A3	活動量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内生産管理システム●●から、キャップの射出成型の際の端材の発生割合を把握する。端材発生割合は投入樹脂量に対し10%である。</li> <li>・廃棄物マニフェスト伝票から、この端材の処理方法を把握する。この端材の80%はリサイクル業者が引き取り、20%は廃棄物として焼却処理される。</li> <li>・計算式:投入樹脂重量×端材発生割合×リサイクル率 5(kg)×0.1×0.8=0.4(kg)</li> <li>・データ収集期間:1年間(2008年7月~2009年6月)</li> </ul>	プロセス② 社内生産管理システム●● マニフェスト伝票
A4	活動量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内生産管理システム●●から、キャップの射出成型の際の端材の発生割合を把握する。端材発生割合は投入樹脂量に対し10%である。</li> <li>・廃棄物マニフェスト伝票から、この端材の処理方法を把握する。この端材の20%はリサイクル業者が引き取り、80%は廃棄物として焼却処理される。</li> <li>・計算式:投入樹脂重量×端材発生割合×焼却処理率 5(kg)×0.1×0.2=0.1(kg)</li> <li>・データ収集期間:1年間(2008年7月~2009年6月)</li> </ul>	プロセス② 社内生産管理システム●● マニフェスト伝票
A5	活動量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の仕様書における各種部材の重量構成比を把握する。キャップ部材の重量は4.545kgであった。</li> <li>・PCR原材料調達輸送のシナリオより「10トトラック、積載率25%」を使用</li> <li>・キャップ生産工場から製品生産工場までの距離はgoogleマップから算出。50kmであった。</li> <li>・計算式:キャップ部材の重量×距離 0.227(tkm)=4.545(kg)/1000(kg/t)*50km</li> </ul>	プロセス③ 製品仕様書 PCRシナリオ googleマップ
...	...	...	...
B1	原単位	基本データベース ver. ●●	
B2	原単位	利用可能データ ver. ●● <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         活動量と原単位は分けて記載するよう                          にご確認ください。                     </div>	

検証において、「(5)データ入力と算出結果」のシートと、この「(6)データの根拠」シートを使用して、妥当性の確認を行うことから、この部分の記述は丁寧に行ってください。  
 なお、重複する記述を繰り返すのは避け、参照番号を統一するなどの工夫をしてください。

「(4)フロー図」で記載したプロセスの番号を本欄に併せて記入すること。



# カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム

記入

## CFP検証申請書セルフチェックリスト

本資料は、作成いただいたCFP検証申請書の事前のセルフチェック用のツールとして用意するものです。CFP検証を希望される事業者の方はチェック済みの本資料を「CFP検証申請書」とともに提出して頂きますようお願い申し上げます。

※チェック済みのものは、「未確認」を「確認済み」に変更してください。申請されるCFP検証申請書に該当する内容が無い場合は「なし」を選択してください。

### 1. 「(1)検証申請書」シートのチェックリスト

No.	内容	チェック
1-1	検証申請書資料一式以外に、CFP検証において配布を希望する資料がある場合、「添付資料」欄に記載されているか。 (注)事務局はこの欄を確認し、追加的に資料を添付するか確認するので、ここに記載がない場合は資料として添付してください。	未確認

すべての項目が「確認済」または「なし」になるまでチェックしてください。

### 2. 「(2)登録情報」シートのチェックリスト

No.	内容	チェック
2-1	全般的に消費者に誤解を与えない表現となっているか。 (注)消費者の立場に立って申請書を読み返していただいて、ややこしい表現や、主語が明確になっていない文章、読み手によって解釈が変わるような文章などになっていないかを確認してください。	未確認
2-2	全般的に消費者が理解しやすい表現となっているか。 (注)消費者が理解できない専門用語などが使用されていないか。また、製品情報について箇条書きを利用するなど、見やすさに工夫しているか。	未確認
2-3	全般的にCFPプログラムと関係がない(CFP算定結果と関連しない)製品の宣伝文句が記載されていないか。 (注)登録情報の様式全体がCFPプログラムでの検証対象であることから、製品情報やCFP算定結果に関連のない記載は検証できません。コミュニケーションの促進の意味で追加情報等に記載する情報は、今回の算定の結果から導き出されるものに限りません。	未確認
2-4	「1.2製品名称」については、検証対象製品の実態を適切に表現できているか。 (注)対象製品が限定的な商品であるにもかかわらず、製品名称が一般的な名称となりすぎている場合は不相当と考えられる。	未確認
2-5	「1.3製品の型式」については、検証を申請する特定の製品の型式となっているか。また、農産物等型式が存在しない場合は「-」となっているか。	未確認
2-6	「1.4製品の主要仕様・諸元」の記載が当該製品に関する記載となっているか。 (注)重量やサイズなど、商品の仕様・諸元が、一目で理解出来るようになっているかを確認すること。 (よくある事例) 「リサイクル30%」という記載については、「リサイクル材を30%使った製品」なのか、「製品が廃棄・リサイクル段階で30%リサイクルされることを想定して算定されている」のかが不明瞭。わかりやすく記載すること。	未確認



No.	内容	チェック
2-7	「1.5 CFP算定単位」はCFP-PCRに準拠しており、且つ実際の算定方法と一致しているか。 (注)1.4に「2セットで1製品」などと記載されている場合、算定単位が何を単位にしたのかわかりにくいことがあるため、前後の表現との関連も注意すること。	未確認
2-8	「2.1事業者名」は、検証を申請する製品のブランドオーナーの事業者名となっているか。 (注)算定代行をしたコンサルタント会社など、当該製品との関連が直接ない事業者名を記載していないか。	未確認
2-9	「2. 事業者情報」に、登録情報の問い合わせ対応として、適切な電話番号記載されているか。	未確認
2-10	「3.1CFP算定結果(カーボンフットプリント)の「g、kg、t」等の単位は消費者に伝わりやすいかものを選択されているか。 (注)120kgの場合、120000000mgなどとなっていないか。120mgの場合、0.00012kgなどとなっていないか。	未確認
2-11	「3.2 内訳(ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等)」の記載は、「データ入力と算出結果の詳細」の各段階の小計値が表示桁数2桁で入力されているか。 CFP-PCRで算定対象外と記載されている段階については「-」の記載がされているか。	未確認
2-12	「3.1CFP算定結果(カーボンフットプリント)」の記載は、「データ入力と算出結果の詳細」の値を正しく引用し、3桁目が四捨五入された2桁の値になっているか。 (注)消費者にとっては、登録情報のデータが全てである。全段階を個別に足し合わせた数値と3.1の合計値が合わない場合、必ず3.1に「端数処理により、左記の値は内訳の合計値と異なる場合があります」の注を入れること。	未確認
2-13	3.3に数値表示を行う場合、「3.3 数値表示、追加情報の内容」、「数値表示」の数値は、3.1の数値を転記(表示桁数2桁への変更を含む)するか、数値表示の単位に応じて3.1の数値から適切に換算されているか。 (注)3.3の数値は、3.2を個別に割り算した結果を足しあげるのではなく、3.1の数値を換算する。	未確認
2-14	「3.3 数値表示、追加情報の内容」、「追加情報の記載内容」に、「カーボンフットプリントの算定・宣言に関する要求事項 3.2.5.項 追加情報」および「該当するCFP-PCR 12-1 追加情報」で規定された必須表示項目が記載されているか。 (注)CFP-PCRにおいて、「～を記載する」や「～を記載しなければならない」とあるものが必須表示事項である。「～することが認められる」や「～することができる」というものは、必須表示ではない。	未確認
2-15	「3.3 追加情報の記載内容」に定量的なライフサイクルの効果等を記載する場合は、その効果となる数値の根拠データが適切に収集され、根拠に基づいて説明されているか。(追加情報であっても、検証の対象となる。)	未確認
2-16	「3.3 数値表示を行う際の表示方法」、「追加情報の記載内容」にライフサイクルの構成比のグラフ等を記載すること推奨している。記載する場合は、グラフの見やすさに注意すること。例えば、他のライフサイクル段階に比べて極端に数値が低い段階がある場合に、グラフ上で表示されないケースがあることから、矢印などを用いて示すなどの工夫を行うこと。	未確認
2-17	「5. 算定条件」の参照する認定CFP-PCRの番号はCFP検証申請時点での最新か。名称が適切か。 (注)CFP検証申請後に認定CFP-PCRが改訂された場合は、改訂後のものを使用する必要はないが、必要に応じて、改訂後のものを使用することができる。	未確認

No.	内容	チェック
2-18	「5. 算定条件 利用した二次データの考え方」の参照する基本データベースや利用可能データの名称やVerが適切か。複数のデータベースを利用している場合、その優先順位がわかる記載となっているか。 (注)名称について、「基本データベースver.～～」の「ver No」が間違えているケース、「利用可能データライブラリ」を「利用可能データ」と記載しているケース等が散見される	未確認

### 3. 「(3)フロー図」シートのチェックリスト

No.	内容	チェック
3-1	当該製品のライフサイクルフローを適切に表現した図が記載されているか。 (注)印刷時に切れないように印刷のプロパティで調整してください。	未確認

### 4. 「(4)データ入力と算出結果」シートのチェックリスト

No.	内容	チェック
4-1	CFP-PCRで規定されている必要なデータ項目が収集されているか。	未確認
4-2	CFP-PCRで規定されている必要な1次データ項目が収集されているか。	未確認
4-3	収集した1次データの数値等の根拠となる情報「(5)データの根拠」の参照番号が、適切に記載されているか。 (注)番号がずれているケース、存在しない番号を参照しているケースが散見されるので注意すること。	未確認
4-4	各プロセスにおけるマテリアルバランスは確認されているか。	未確認
4-5	「基本データベース」または「利用可能データライブラリ」より原単位を引用している場合、「公開用整理番号」を記載したか。「基本・利用・その他」の区分が適切に入力されているか。	未確認
4-6	基本データベース等からの転記ミスがないか。 (注)その際、桁や単位(トン→kg)などの換算ミスが無い確認すること。	未確認
4-7	記入されていない行が残った場合には、行が削除されているか。また、挿入・削除を行った際に数式の参照セルがずれていないか。	未確認
4-8	過小や過大となっているデータがないか、全LCに対する寄与率やLC段階別寄与率の情報を参考として確認すること。 (注)一般論として、主要な原材料や主要な生産工程の寄与率は高く、副資材や段ボールなどの副資材の寄与率は低いケースが多い。異常値と思われる場合は、データ収集のミスや、算定のミス、原単位の転記ミス等が想定されるため、重点的に確認すること。	未確認
4-9	プラスチックなどの化石資源由来の物質を焼却処理している場合、プラスチックなどに含有されている炭素が酸化することで発生するCO2を別途計上しているか。 (注)基本データの原単位の「焼却処理」には前述の値が含まれていないため、別途計上する必要がある。	未確認
4-10	CFP宣言認定製品のCFP値を一次データとして利用している場合は、当該製品「そのもの」を利用していることを確認したか。	未確認

### 5. 「(5)データの根拠」シートのチェックリスト

No.	内容	チェック
5-1	CFP算定の根拠となるエビデンスからの数値の転記について、適切に行われているか。	未確認

No.	内容	チェック
5-2	CFP算定の根拠となるエビデンスはすべて、検証合格より最低3年間以上の保管期限を有しているか。	未確認
5-3	データに関する説明が明確に記載されているか。有効数字を踏まえ、読み手が読みやすいように、簡潔に記載されているか。 (注)小数点以下の数値を10ケタなど表示していると見にくいいため、見やすさを考えて表示をすること。	未確認
5-4	配分方法の根拠は十分に検討されているか。 (注)同工場で他(多)製品を製造している場合、生産工程のユーティリティの配分方法について、検証パネルで論点となることが多い。過大な配分を行い、過小評価になっていないから良いと主張される事業者がいるが、実態に近くかつ妥当な配分方法を模索する必要があり、その配分方法とした考えについても記載もしくは説明できるようにする必要がある。	未確認
5-5	CFP-PCRでカットオフ対象となっている項目に加えて、カットオフする場合、その方法は「CFP算定・宣言に関する要求事項」または「CFP-PCR」のカットオフ基準に準拠しており、かつ十分な説明ができるか。 (注)説明が難しい場合、類似製品の原単位のあてはめなどを行うことでカットオフを回避することもできる。	未確認
5-6	シナリオの選択及び内容がCFP-PCRに準拠しており、且つ十分な根拠に基づいているか。 (注)申請者がCFP-PCRとは異なるシナリオを申請している場合、CFP-PCRのシナリオが実態にそっていない可能性がある。ただし、輸送シナリオについては、申請前に、ココが「全件チェックOK」になったことを確認してください。	未確認
5-7	同じ内容の根拠を繰り返し記載するのは避けて、参照番号を統一するなど、見やすさの工夫がなされているか。	未確認
<b>チェック項目の再確認をお願いします。</b>		

以上